

フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行所: 中部労災病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



「労災病院が新しくなります」

中部労災病院 副院長 佐野 隆久

新しい病院は、医療の質の高度化、疾病構造の多様化、国民の高齢化等への対応をはじめとして、21世紀の医療に十分対応できることを目指しています。

なお、計画では、全面的に新築することにしており、工事期間中は、何かとご迷惑をおかけすることとなりますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

病院機能の充実化

患者様中心の医療サービスを最優先とした病院づくりをします。

地域の中核病院としての機能整備を充実します。
救急医療などによる高度な急性期医療及び災害拠点病院に対応する施設設備を充実します。

生活習慣病に対応する診療機能体制を構築します。
勤労者医療を積極的に展開する、勤労者のための病院作りをします。



快適な療養環境の確保

港北公園との緑の調和を考慮し、樹木をたくさん取り入れた、緑あふれる病院を作り、癒しの場所を提供します。

自然の光・風・緑を感じる空間を確保します。
病室にゆとりのあるスペースを確保します。



建築順序の基本方針(予定)

平成14年度

単身用宿舎 看護専門学校の改築

(平成19年度末完成予定)

平成15年度以降

新病院の改築(2期) 職員宿舎の改築
外部環境整備 ほか

今月号のお知らせ

- 1 労災病院が新しくなります……佐野副院長
- 2 医師のページ
狭心症や心筋梗塞の症状とは……春田部長
- 3 看護師のページ
季節の看護「飲みすぎに注意」
子どものケア「子どもの冬の下痢」

- 4 医療スタッフのページ
栄養管理室「おせちは神への供え物」
リハビリテーション科「職場紹介」
放射線科「X線検査の安全性」
薬剤部「おくすりと飲食物の相互作用～その1」
- 5 ボランティア&患者様のページ
- 6 病院内の情報
講演会「脳卒中治療の最前線」
患者様の安全確保



医師

狭心症や心筋梗塞について

～ 予備軍の症状とは～

循環器センター 春田 一行 部長

狭心症

最初は胸の辺りのいやな感じで、それは、痛みのような感じでもあり、のどの詰まる感じでもあり、呼吸困難のような感じでもあり、締め付けられる感じのこともあります。場所も、胸だけでなく、首筋やあご、歯、肩、腕、ときに上腹部にくることや胸やけに似た症状のこともあります。糖尿病の方や高齢者の場合、症状が軽く感じられることもあり、注意が必要です。

症状がでるとき：

階段を急いで上がったとき、坂道を上がったとき、重い荷物をもって歩いたとき、入浴したとき、気張って排便した後、興奮したとき、食事中、食後、家事特に布団の上げ下ろし、掃除、洗濯、食事の支度、庭の水遣りなど運動や労働をしたとき

胸の真中あたりがギュと締め付けられるように痛くなりますが、2～3分じっとして安静を保つと、うそのように症状が軽くなり、無理をしなければなんともないため、軽く考えてしまうことがあります。

これが危ない！！精密な心臓の検査が必要です。



当院循環器センターに

受診して下さい。

心筋梗塞

突然に発症して胸の締め付けがなかなかおさまらず、手足が冷たく、冷や汗が大量で重篤感があり、運の悪い場合は、重篤な不整脈や心不全や心破裂をおこして、急死ということもあります。



初めての狭心症や、左記の狭心症の症状が頻回となったり、不安定化したりで、心筋梗塞の前触れとわかる場合もありますが、半数はまったく前触れがなく突然起こります。

突然起こるわけですから、今まで元気であったとか、運動をしてもなんともなかったというような症状は、あてにすることができません。

心筋梗塞の発症が多い人：

糖尿病のある人、血圧の高い人、尿酸値の高い人、高脂血症のある人、タバコをすう人、肥満のある人、家族内に狭心症や心筋梗塞、冠動脈バイパス手術を受けたことのある人や、突然死した人がいる人、ストレスの多い人など。

以上のような人は狭心症や心筋梗塞の予備軍の可能性があり、日頃から気をつけていく必要があるといわれています。

一度医師に相談してみてください。

「フィリア・レター」は、中部労災病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者様の建設的な意見を反映する広場として発行しています。

看護師

季節の看護 ポイント情報

肝臓とアルコール

飲みすぎに注意!

肝臓は体重 70 kg の人なら 1 時間に 7 g のアルコール (日本酒なら 1/3 合、ビールなら大瓶 1/3 本、ウイスキーならシングル 1 杯くらいに相当します。) を処理することができます。アルコールを飲みすぎたり、アルコールを分解する酵素が足りなかったりすると、アルコールから酵素によって分解されたアセトアルデヒドが体内に蓄積します。

このアセトアルデヒドが過剰になると重篤な病状を招きます。その重症例が急性アルコール中毒で、一気飲みなどをしたときに起こります。そして、翌日まで頭痛や吐き気などの症状を残すのが、二日酔いです。

また、日本酒で 3 合、ビールで大瓶 3 本、ウイスキーをシングルで 6 ~ 7 杯以上を 5 年間も飲み続けると、脂肪肝になるとも言われています。長年に亘ってアルコール性肝炎が、さらにアルコール性肝硬変へと進行する危険もあります。

お酒は百薬の長と言われますが、アルコールの飲みすぎは、かえって肝臓に負担をかけてしまいます。

これからの季節、年末年始とアルコールを飲む機会も多くあると思いますが、健康維持のため大切な肝臓を守り、アルコールの飲みすぎにはくれぐれもお気をつけください。



子供のケア ポイント情報

子どもの冬の下痢

子どもの下痢のほとんどは突発性のものです。ウイルス性のものは冬季(11月~3月)に圧倒的に多くなります。

病气らしい症状のない下痢は心配ありませんが、発熱や嘔吐をとともなう下痢は小児科を受診しましょう。

子どもの下痢は病原体を体の外へ出そうとする防御反応です。

脱水にならないように、水分を少量づつ何回も与えてください。

対応・処置は次のとおりです。

《便が水のような時》

水分を中心に：湯冷まし、薄めの番茶、重湯、リンゴすりおろし、野菜スープ、幼児用イオン飲料など

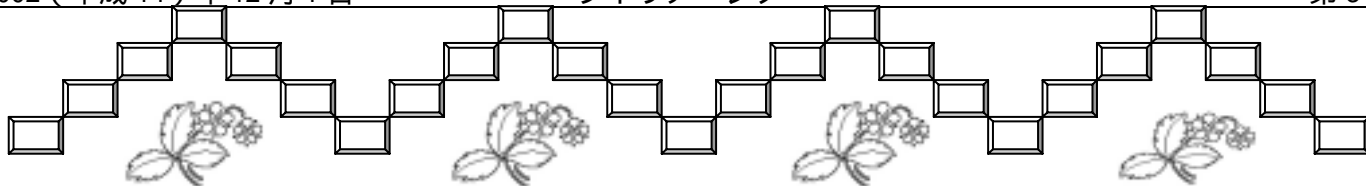
《便がどろどろの時》

どろどろの食べ物：おかゆ、柔らかく煮たうどん、食パン、豆腐、リンゴ、白桃など

《便が柔らかい程度の時》

柔らかい食べ物：食欲が出てきたら、脂の少ない魚・肉を加えていく。鳥のささみ、ひれ肉、カレイ、タラ、ヒラメなど

中部労災病院のホームページで、病院の情報・フィリア・レター・ろうさい病院つうしんがご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。



医療スタッフのページ

【おせちは神への供えもの】

栄養管理室

正月はなぜめでたいのでしょうか。

それは年の神様が来て、年が新しく生まれかわるからです。年の神様は年神といい、農耕をつかさどる神でもありましたので、年神を迎えもてなすことにより一年の豊作を祈りました。古くから、収穫したものはまず神に供え、そのお下がりをいただく習慣がありましたがそれを「なおり」といい、神の持つ力をいただくことを意味しました。また、おせちの数の子は子孫繁栄、黒豆は「マメに」働く、「黒く」なるまで働く、えびはえびのように腰が曲がるまで長生きを、れんこんは穴があいているところから「先が見通せる」、干し柿は粉をふくまで老いても丈夫なようにといったように、使われる材料や切り方など形のひとつひとつにも意味があるのです。

今年のお正月は、おせち料理を食べながらいわれや意味を考えてみてはいかがでしょうか。

【職場紹介】

リハビリテーション科

リハビリテーション医療で患者様の多様なニーズに対応するために種々の関連専門職種があります。

医師、看護師は重要なメンバーです。他に理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST)、義肢装具士、医療社会福祉士 (MSW)、臨床心理士、などが一般的には挙げられています。

次回は当院リハビリテーション科の医師、PT、OT、STについて、それぞれが担当する部門についての紹介をしようと思います (予定なので紹介順の変更あり)。



【おくすりと飲食物との相互作用】

～その1～

薬剤部

おくすり同士の「飲み合わせ」の他に、おくすりや飲食物などとの間にも「飲み合わせ」に注意が必要なものがあります。

安定剤や睡眠剤などはアルコールによってこれらの薬の作用が強まるおそれがあります。

具体的には、アルコール飲用後に安定剤や睡眠剤を服用すると、ろれつが回らなくなったり、一時的に記憶を失うなどの症状が現れることがあります。安定剤や睡眠剤には、脳の働きを抑制する作用があり、アルコールにも同じ作用があるために「飲み合わせ」(作用増強)がおこります。

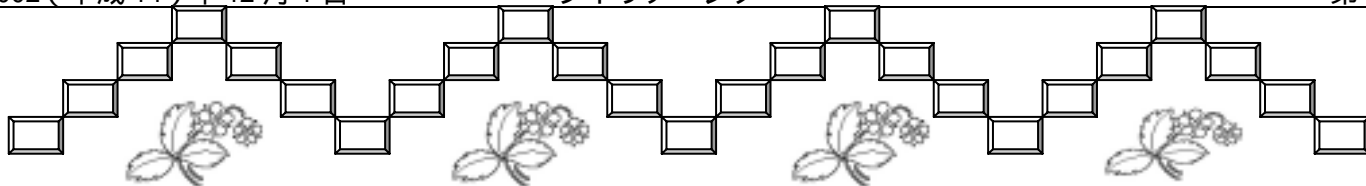
薬剤部で配布している「おくすりの説明書」では、このような内容についてもお知らせしていますので参考にしてください。

【X線(レントゲン)撮影の安全性】

放射線科

時々、患者様より「頻繁に X 線撮影を受けているけど体は大丈夫か」との質問を受けます。ご安心ください。通常の撮影で使用する X 線量を数回被爆した程度では、身体に何も影響は現れてまいりません。また撮影室においては、必要以上の X 線に患者様が被爆しない様、その線量や照射範囲については、十分注意して撮影を行っています。だからと言って無駄な撮影や、重複する撮影は避けるべきです。さらに放射線の感受性が比較的高い妊娠初期の胎児への被爆を避けるため、妊娠の可能性のある女性の方の胃透視や注腸撮影などの腹部撮影は、妊娠の可能性が否定できる時期に行うことが大切だと思います。

いずれにしても疑問な点は、いつでもお気軽にご相談下さい



患者様の声

病院の案内がとてもわかりにくい。初めての患者さんにもわかりやすい案内がほしいと思います



今回のご意見についても、早急に対応を検討したいと思います。

外来診療科での患者さんの呼び出しが、とても早口で、しかもマイクの音質が悪く、聞きづらいです。待合室の隣の患者さんと同じ事を言っていました。



外来スタッフに「マイク放送時は、ゆっくり、明瞭に話すこと」を基本とするように指導を行いました。また、マイク、スピーカについては、定期的に点検し、必要があれば更新等を行うことにいたしました。

玄関噴水周囲の歩道の縁が段になっているところ、つまずいて転んでしまいました。縁を取ってもらえないでしょうか。



玄関前は車が通るロータリーになっていますので、事故防止等のために縁を高くしています。現状を確認のうえ、必要な対応をいたします。



病院ボランティア 四つ葉のクローバーの会



今年も地域の方の協力を得て、玄関にクリスマス・イルミネーションが完成しました。

11月20日の点灯式には、名港保育園のかわいい園児たちの合唱隊による歌声が響きました。テレビ局の取材もありました。

四つ葉のクローバーの会では、

車椅子の後ろにかけてあるピンクの袋、氷枕用のカバー、アイスノンカバー、ベッド柵カバーなどを作り、患者様の入院生活に役立てていただいています。



病院内の情報

患者様の安全確保

当院では、11月6日に消防訓練を行いました。これは、地震・火災等の非常時における患者様等の安全確保を図ることを目的として、毎年11月頃に実施しているもので、特に、今年は、入院患者様の避難誘導をメインテーマに実施しました。

さらに、東海地震を想定した「大規模地震対策に関する警戒宣言が発せられた場合の診療等のお願い」を作成し、警戒宣言が発せられた場合の入院患者様や外来患者様への対応について、お知らせすることにしております。

お気づきの点がありましたら、病院の庶務課にご連絡願います。

講演会 「脳卒中治療の最前線」



去る11月13日に《脳卒中治療の最前線》と題して、当院の関脳神経外科部長による講演会が開催されました。この講演会を聴講して、今後、心がけたいことが2点ありました。

皆さんにも参考としていただければと思います。

今までに経験したこともないような激しい頭痛があったら、迷わず救急外来を受診して下さい。早めの処置が後遺症を軽減することです。

体温が下がると血圧が上昇します。例年より寒さが厳しい毎日ですので、暖かい格好で過ごしましょう。

クリスマス・イルミネーション
(内容は5ページにあります)



編集後記

年の瀬を向かえ、寒さ対策に関係する内容が多くなりました。暖めすぎるのは火の元が心配ですし、寒さは健康の敵です。

適温を守り、日々過ごしましょう。

年末を迎える時期となり、健康管理を忘れずに。

N・M

